

CA Clarity™ PPM

PMO アクセラレータ リリース ノート - オンプレミス

リリース 14.2.00



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により随時、変更または撤回されることがあります。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報であり、CA の事前の書面による承諾を受けずに本書の全部または一部を複製、譲渡、変更、開示、修正、複製することはできません。

本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし、CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負いません。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者は CA および CA Inc. です。

「制限された権利」のもとでの提供：アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2015 CA. All rights reserved. 本書に記載されたすべての商標、商号、サービス・マークおよびロゴは、それぞれの各社に帰属します。

CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: PMO アクセラレータへようこそ	7
リリース 14.2 の新機能.....	8
新しいポートレットと強化されたポートレット.....	9
属性の上書きおよびデータ ウェアハウス.....	13
ビュー保護.....	13
サポート対象外となった属性.....	19
第 2 章: インストール情報	21
アドインのインストール.....	21
自動的にインストールされるアドイン項目.....	23
アドイン項目のインストール (以前にインストールしたリリースのみ).....	34
Jaspersoft [拡張レポート] コンテンツのインポート.....	37
CA ベスト プラクティス アクセラレータ.....	39
PMO アクセラレータ サンプルデータのインストール.....	40
第 3 章: 認定およびサポートされているバージョン	43
第 4 章: ローカライゼーション	45
第 5 章: ドキュメント	47
第 6 章: 追加リソース	49
テクニカル サポートへのお問い合わせ.....	49
第 7 章: アップグレード情報	51
PMO リリース 14.1 から PMO リリース 14.2 へのアップグレード.....	51

第 1 章: PMO アクセラレータへようこそ

CA Clarity PPM PMO アクセラレータ リリース 14.2 アドイン (PMO アクセラレータ) のリリース ノートへようこそ。このアドインは、CA Clarity Project & Portfolio Manager (CA Clarity PPM) リリース 14.2 に基づいています。このドキュメントは、アドインの使用を開始する場合に役立ちます。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[リリース 14.2 の新機能 \(P. 8\)](#)

[新しいポートレットと強化されたポートレット \(P. 9\)](#)

[属性の上書きおよびデータ ウェアハウス \(P. 13\)](#)

[ビュー保護 \(P. 13\)](#)

[サポート対象外となった属性 \(P. 19\)](#)

リリース 14.2 の新機能

このバージョンでは、以下の新機能および拡張機能を利用できます。

- PMO アクセラレータ アドインと組み合わせて使用する一連の Jaspersoft ドメインと Jaspersoft Studio レポートなど、新しい Jaspersoft [拡張レポート] コンテンツ。
- 含まれるドメイン: [アプリケーション管理]、[カスタム マスタ オブジェクト]、[会計管理]、[アイデア管理]、[投資管理]、[プロジェクト管理]、[リソース管理]、および [時間管理]。
- 含まれるプロジェクト管理レポート: [プロジェクト タイプ別 KPI]、[プロジェクト タイプ別 KPI (ダッシュボード)]、[キー タスクとマイルストーン ステータス]、[プロジェクト 変更依頼の登録]、[プロジェクトのコストおよび工数]、[プロジェクト問題の登録]、[プロジェクト ポートフォリオ要約]、[プロジェクト リスクの登録]、[プロジェクト リスク、問題、および変更サマリ]、[プロジェクト ステータスの詳細]、[プロジェクト ステータス レポート リスト]、[プロジェクト ストーリーボード]、[プロジェクト タスク 依存関係]、および [トップ 50 プロジェクト ウォッチ リスト]。
- 含まれる [投資管理] レポート: [投資配分と割り当て]、[タスク別投資割り当て]、および [投資ベースライン vs 計画 (タスク別)]。
- 含まれる [リソース管理] レポート: [キャパシティ vs 配置 (OBS 別)]、[キャパシティ vs 予約ステータス (OBS 別)]、[キャパシティ vs 需要 (リソース別)]、[キャパシティ vs 需要 (ロール別)]、[配置超過/過少 (リソース別)]、[配置超過/過少 (ロール別)]、[リソースの配置と割り当て]、[タスク別リソース割り当て]、[リソース利用可能時間]、[リソース ベースライン vs 計画 (雇用形態別)]、[リソース予測使用率]、[リソース予測使用率詳細]、および [リソースのスキル]。
- 含まれる時間管理レポート: [不足時間]、[マネージャ別リソース時間レビュー]、[リソース時間の要約および詳細]、[時間の遵守性]、および [時間遵守性の詳細]。
- 含まれる会計管理レポート: [会計資本 (投資別)]、[会計資本詳細]、[会計予測レビュー (投資別)]、[会計予測レビュー (計画グループ別)]、および [投資トランザクションクエリ]。
- 含まれる管理レポート: [ユーザのアクセス権]、[ユーザアクセス権の詳細]、[ユーザ ライセンスおよびアクティビティ]、および [ユーザ ライセンスおよびアクティビティの詳細]。

- 拡張レポート コンテンツで利用可能なドメインおよびレポートへの権限を持つ Jaspersoft ロール：CSK_ROLE_ADMINISTRATION、CSK_ROLE_ALL_REPORTS_DOMAINS、CSK_ROLE_APPLICATION_MANAGEMENT、CSK_ROLE_CUSTOM_MASTER_OBJECTS、CSK_ROLE_FINANCIAL_MANAGEMENT、CSK_ROLE_IDEA_MANAGEMENT、CSK_ROLE_INVESTMENT_MANAGEMENT、CSK_ROLE_PROGRAM_MANAGEMENT、CSK_ROLE_PROJECT_MANAGEMENT、CSK_ROLE_RESOURCE_MANAGEMENT、および CSK_ROLE_TIME_MANAGEMENT。
- 19 言語の全面的なローカライゼーション サポート。

新しいポートレットと強化されたポートレット

リリース 14.2 では、以下のポートレットが追加または強化されました。これらのポートレットの詳細な説明については、[PMO アクセラレータ製品ガイド] を参照してください。

ポートレット名	新規	強化	変更なし
トランザクションタイプ別実績値			X
残高			X
資本および業務予算 vs 予測			X
資本および業務コストの要約			X
変更依頼管理			X
コストと工数ダッシュボード		X	
コストとスケジュールの概要			X
現在の問題			X
現在の問題のリスト			X
フェーズ別アードバリュー分析			X
投資コストとロール需要			X
期間別投資コスト			X
投資会計要約			X

新しいポートレットと強化されたポートレット

ポートレット名	新規	強化	変更なし
期間別投資計画			X
投資スケジュール			X
投資タイムシートのレビュー			X
投資タイムシートの要約			X
問題管理			X
問題の優先度別表示			X
問題リスト			X
ステータス レポート遅延			X
遅延タスクとマイルストーン			X
マイルストーン			X
ステータス レポート欠如			X
マイ タイムシート			X
概要プログラム フィルタ			X
概要プロジェクト フィルタ			X
概要スポンサー フィルタ			X
未確定の見積もりのレビュー			X
ゴール別計画利益			X
ゴール別計画コスト			X
プロジェクト タイプ別計画コスト			X
ウォーターライン別計画コスト			X
ゴール別計画 NPV			X
ポートフォリオ資本および業務コスト分析			X
ポートフォリオ資本および業務コスト			X
ポートフォリオのコストと利益の分析			X
全体的な健全性別のポートフォリオ コスト			X
ポートフォリオ コスト			X
ポートフォリオ ダッシュボード フィルタ			X

ポートレット名	新規	強化	変更なし
承認別ポートフォリオ投資数			X
ゴール別ポートフォリオ投資数			X
タイプ別ポートフォリオ投資数			X
ウォーターライン別ポートフォリオ投資数			X
作業ステータス別ポートフォリオ投資数			X
ポートフォリオ投資ダッシュボードフィルタ			X
ゴール別ポートフォリオ計画コスト			X
ゴール別ポートフォリオ計画 NPV			X
ポートフォリオロール分析			X
ゴール別ポートフォリオロール需要			X
ポートフォリオロール			X
ポスト済みトランザクションレビュー（投資）			X
ポスト済みトランザクションレビュー			X
プロセス ボトルネック			X
プログラム マネージャ コスト ダッシュボード			X
プログラム マネージャ スケジュール ダッシュボード			X
プロジェクト分析			X
プロジェクト ベースライン			X
フェーズ別プロジェクト コスト			X
リソース別プロジェクト コスト			X
タスク別プロジェクト コスト			X
プロジェクト サイクル時間分析		X	
プロジェクト ドキュメント レビュー			X
プロジェクト インジケータ			X
OBS 別のプロジェクト KPI			X
プロジェクト ライフサイクルのレビュー			X

新しいポートレットと強化されたポートレット

ポートレット名	新規	強化	変更なし
プロジェクト スケジュール			X
リソース稼働ステータス			X
月別リソース稼働率パーセント			X
リスク管理			X
ロールのキャパシティと需要			X
ロールのキャパシティと需要ヒストグラム			X
ゴール別ロール需要			X
ウォーターライン別ロール需要			X
スケジュールと進捗ステータス			X
スケジュール ダッシュボード			X
スケジュール パフォーマンス			X
スケジュール パフォーマンスの詳細			X
スタッフ配置			X
スタッフ割り当て			X
ステータス レポート インジケータ			X
ステータス レポート リスト			X
[ステータス レポート レビュー] フィルタ			X
チーム キャパシティ			X
チーム メンバー タスク要約			X
チーム稼働ステータス			X
タイムシート メモ			X
タイムシートの概要フィルタ			X
タイムシートのレビュー			X
今後のマイルストーン			X

属性の上書きおよびデータウェアハウス

以前のバージョンの PMO アクセラレータによってインストールされた属性は、PMO アクセラレータ の上位バージョンへのアップグレード時に上書きされます。名前、計算属性の式、[データ ウェアハウスに含める] チェック ボックス、または表示マッピングを変更して、これらの属性を設定した場合、設定が上書きされるため、アップグレード後に手動で再度設定を行う必要があります。これらの属性は、利益計画の詳細、アイデア、投資、プロジェクト、およびステータス レポート オブジェクト上にあります。アップグレード時に上書きされる項目の一覧については、「[自動的にインストールされるアドイン項目 \(P. 23\)](#)」を参照してください。

PMO アクセラレータによってインストールされた属性の大部分では、[データ ウェアハウスに含める] フィールドがチェックされています。レポートがこのフィールドに依存しているため、オフにはしないでください。PMO アクセラレータ属性の ID は、該当する列がデータ ウェアハウスで作成されると名前が変更されます。属性および対応する列名の全リストについては、「*Jaspersoft [拡張レポート] の PMO アクセラレータ製品ガイド*」を参照してください。

ビュー保護

ビューを設定するために以前に Studio を使用したか、または別のアドインをインストールしてビューを設定した場合、PMO アクセラレータ アドインをインストールしても、これらの設定はそのまま残ります。インストール時に新しい内容または変更された内容で上書きされません。既存の設定を手動で変更するか、または PMO アクセラレータで提供される新しい内容を適用するかを決定できます。

このアドインによってインストールされたビューの変更を適用する方法については、「[アドイン項目のインストール \(P. 34\)](#)」を参照してください。

以下の表に、PMO リリース 14.2 で変更されたすべてのビューを示します。この情報で、既存のビューに手動で変更を加えるか、新しいビューを適用するかを決定できます。

オブジェクト名	表示	新規	強化	変更なし
アプリケーション	アプリケーションのプロパティ			X

オブジェクト名	表示	新規	強化	変更なし
	アプリケーションリスト			X
	アプリケーションフィルタ			X
資産	資産のプロパティ			X
	資産リスト			X
	資産フィルタ			X
割り当て	割り当てのプロパティ			X
	タスク割り当てリスト			X
ベースライン	ベースラインリビジョンのプロパティ			X
	ベースラインリビジョンリスト			X
	ベースラインリビジョンフィルタ			X
利益計画	利益計画プロパティ			X
	利益計画リスト			X
	利益計画フィルタ			X
利益計画の詳細	利益計画の詳細プロパティ			X
	利益計画の詳細リスト			X
	アイデア利益計画の詳細リスト			X
	利益計画の詳細フィルタ			X
	アイデア利益計画の詳細フィルタ			X
変更	変更プロパティ			X
	変更リスト			X
	変更フィルタ			X
コスト計画	コスト計画プロパティ			X
	コスト計画リスト			X

オブジェクト名	表示	新規	強化	変更なし
	コスト計画フィルタ			X
	予算リスト			X
	予算フィルタ			X
コスト計画の詳細	コスト計画の詳細のプロパティ			X
	アイデア コスト計画請求の詳細リスト			X
	コスト計画の詳細リスト			X
	コスト計画の詳細フィルタ			X
	予算計画の詳細フィルタ			X
総勘定元帳配置	総勘定元帳配置借方プロパティ			X
	借方ルール リスト			X
	借方ルール フィルタ			X
	標準ルール借方プロパティ			X
	標準ルール リスト			X
	標準ルール フィルタ			X
総勘定元帳配置の詳細	間接費ルールの詳細プロパティ			X
	間接費ルールの詳細リスト			X
	間接費ルールの詳細フィルタ			X
	借方ルールの詳細リスト			X
	標準ルールの詳細リスト			X
アイデア	アイデアのプロパティ			X
	アイデア リスト			X
	アイデア フィルタ			X
問題	問題のプロパティ			X
	問題リスト			X

オブジェクト名	表示	新規	強化	変更なし
	問題フィルタ			X
	関連問題リスト			X
他の作業	他の作業プロパティ			X
	他の作業リスト			X
	他の作業フィルタ			X
製品	製品のプロパティ			X
	製品リスト			X
	製品フィルタ			X
プロジェクト	プロジェクトのプロパティ			X
	プロジェクトリスト			X
	プロジェクトフィルタ			X
	プログラムのプロパティ			X
	プログラムリスト			X
	プログラムフィルタ			X
	担当プロジェクト			X
	サブプロジェクト選択リスト			X
	サブプロジェクト選択フィルタ			X
	プロジェクトテンプレート フィルタ			X
	プロジェクトリリース フィルタ			X
	プロジェクト要件フィルタ			X
リソース	リソース労働プロパティ			X
	リソース備品プロパティ			X
	リソース資材プロパティ			X
	リソース経費プロパティ			X
	ロールの労働プロパティ			X

オブジェクト名	表示	新規	強化	変更なし
	ロールの備品プロパティ			X
	ロールの資材プロパティ			X
	ロールの経費プロパティ			X
	リソース リスト			X
	リソース フィルタ			X
	リソースの選択リスト			X
	リソース選択リスト			X
	リソース ファインダ リスト			X
	部門リソース リスト			X
	リソースの選択フィルタ			X
	リソース選択フィルタ			X
	リソース ファインダ フィルタ			X
	部門のリソース フィルタ			X
リソース貸方	リソース貸方			X
	リソース貸方リスト			X
	リソース貸方フィルタ			X
リソース貸方詳細	リソース貸方詳細リスト			X
リスク	リスクのプロパティ			X
	リスク リスト			X
	リスク フィルタ			X
	関連リスク リスト			X
サービス	サービス プロパティ			X
	サービス リスト			X
	サービス フィルタ			X
	サービス加入リスト			X
	サービス加入フィルタ			X

オブジェクト名	表示	新規	強化	変更なし
	サービス加入リスト (追加)			X
	サービス加入フィルタ (追加)			X
ステータス レポート	ステータス レポートのプロパティ			X
	ステータス レポート リスト			X
	ステータス レポート フィルタ			X
タスク	タスクのプロパティ			X
	タスク リスト			X
	タスク フィルタ			X
	関連付けタスク リスト			X
	ガント リスト			X
	タスク リソース稼働ステータス リスト			X
	プロジェクト要件タスク リスト			X
	タスクの選択リスト			X
	関連付けタスク フィルタ			X
	ガント フィルタ			X
	タスク リソース稼働ステータス フィルタ			X
チーム	スタッフ メンバのプロパティ			X
	プロジェクトチーム スタッフ リスト		X	
	プロジェクトチーム詳細リスト		X	
	チーム スタッフ リスト (投資)			X
	チーム詳細リスト (投資)			X

オブジェクト名	表示	新規	強化	変更なし
	リソース配置リスト			X
	リソース配置詳細リスト			X
	チーム選択リスト			X
	プロジェクトチームフィルタ			X
	チームフィルタ			X
	リソース配置フィルタ			X
	リソース選択フィルタ			X

サポート対象外となった属性

PMO アクセラレータ リリース 14.1 では、以下の属性が削除されており、サポート対象外となっています。

- BTM 統合 (ID : btm_integration)

この属性は投資およびポートフォリオ投資オブジェクトで利用できました。この属性は、PMO アクセラレータでは提供されなくなりましたが、アップグレードで自動的に削除されることはありません。アップグレードを行うお客様は、この属性を投資オブジェクトから手動で削除する必要があります。これにより、この属性はポートフォリオ投資オブジェクトから自動的に削除されます。

第 2 章: インストール情報

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[アドインのインストール \(P. 21\)](#)

[自動的にインストールされるアドイン項目 \(P. 23\)](#)

[アドイン項目のインストール \(以前にインストールしたリリースのみ\) \(P. 34\)](#)

[Jaspersoft \[拡張レポート\] コンテンツのインポート \(P. 37\)](#)

[CA ベストプラクティス アクセラレータ \(P. 39\)](#)

[PMO アクセラレータ サンプルデータのインストール \(P. 40\)](#)

アドインのインストール

ユーザがコンテンツを利用できるように、CA Clarity アプリケーション サーバに PMO アクセラレータ アドインをインストールします。PMO アクセラレータ アドインは CA Clarity PPM 製品に含まれており、すぐにインストールできます。PMO アクセラレータ リリース 3.2 より前のリリースでは、サポートサイトからアドインインストーラをダウンロードする必要がありましたが、これは必要なくなりました。

以前の CA Clarity PPM リリースからアップグレードしており、PMO アクセラレータがインストールされている場合は、その PMO アクセラレータもアップグレードする必要があります。CA Clarity PPM バージョンと共にインストールする必要があるアドインのバージョンを確認するには、認定およびサポートされているバージョンの表を参照してください。

ベストプラクティスとして、アドインをインストールする前に、既存の CA Clarity PPM インストールディレクトリおよびデータベースをバックアップすることを推奨します。

以下の手順では、CA Clarity PPM アプリケーション サーバに PMO アクセラレータ アドインをインストールする方法について説明します。

次の手順に従ってください:

1. サービスの停止。
2. インストールスクリプトの実行。
3. サービスの起動

サービスの停止。

アドインをインストールする前に、CA Clarity PPM アプリケーション（アプリ）および CA Clarity PPM バックグラウンド（bg）サービスを停止します。サービスは Clarity システム管理から停止します。CA Clarity PPM サービスの停止に関する詳細については、「CA Clarity PPM インストールガイド」を参照してください。

インストールスクリプトの実行

以下の手順では、ルックアップ、クエリ、ポートレット、ページ、ビュー、プロセス、グループ、リソースロール、プロジェクトテンプレートおよびデータベースオブジェクトをインストールします。

重要: 必要に応じてアプリケーションを前のバージョンに復元できるように、このアドインをインストールする前に、CA Clarity PPM インストールをバックアップしてください。アドインをインストールすると、アンインストールすることはできません。

次の手順に従ってください:

1. コマンドプロンプトを開き、CA Clarity PPM の runtime/bin ディレクトリに移動します。
2. 以下のコマンドを入力します。
`admin content csk`
インストールプロセスが開始され、画面に情報が表示されます。これらの情報はキャプチャされ、ログディレクトリにある `admin.log` ファイル内に格納されます。出力ファイルは `logs/content/xog/csk` ディレクトリに格納されます。
3. インストールが完了したら、画面の出力やログに重要な情報がないかどうかを確認します。

サービスの起動

アドインをインストールする前に、CA Clarity アプリケーション（app）サービスと CA Clarity バックグラウンド（bg）サービスを起動します。サービスは Clarity システム管理から起動します。CA Clarity サービスの開始に関する詳細については、「CA Clarity PPM インストールガイド」を参照してください。

自動的にインストールされるアドイン項目

以下の項目について PMO アクセラレータによってインストールされた内容を以前に設定している場合、この設定は保持されません。これらはインストールまたはアップグレード時に上書きされます。変更の適用が必要なため、各 PMO リリースでは、これらの項目が強制的にインストールされます。テーブル内の説明列は、非オブジェクト変更に対して最初に項目変更が含まれたリリースを参照します。

名前	タイプ	説明
利益計画の詳細	オブジェクト	以下の属性が [利益計画詳細オブジェクト] の [利益クラス] および [利益サブクラス] にインストールされるように、この項目は強制的にインストールされます。
アイデア	オブジェクト	以下の属性および対応する表示マッピングが、[アイデア]オブジェクトの [ビジネス オーナー]、[優先処理]、[アイデア カテゴリ]、[目標]、および [リクエストタイプ] にインストールされるように、この項目は強制的にインストールされます。 また、CA Clarity PPM でインストールされる [アイデアの優先度] 属性の表示マッピングも含まれます。
投資	オブジェクト	このアイテムは、次の属性および対応する表示マッピングが投資オブジェクトに確実にインストールされるように強制的にインストールされます： [アーキテクチャの適合度]、[BTM 統合]、[ビジネス整合性]、[ビジネスユニット優先度]、[商品価値]、[企業優先度]、[ポートフォリオカテゴリ 1]、[ポートフォリオカテゴリ 2]、[ポートフォリオカテゴリ 3]、[ポートフォリオカテゴリ 4]、[法的遵守性]、[テクノロジー準拠性]、および [作業ステータス]。 また、CA Clarity PPM でインストールされる次の属性の表示マッピングも含まれます： [進捗ステータス] および [ステータス インジケータ]。
ポートフォリオ投資	オブジェクト	PMO アクセラレータ投資およびプロジェクト属性のポートフォリオプロバイダおよびポートフォリオポートレットでの利用を保証するために、この項目のインストールが強制的に行われます。

名前	タイプ	説明
プロジェクト	オブジェクト	<p>このアイテムは、次の属性および対応する表示マッピングがプロジェクトオブジェクトに確実にインストールされるように強制的にインストールされます: [ビジネス オーナー]、[コスト差異 (%)]、[予想要因 1]、[予想要因 2]、[会計とガバナンス]、[目標]、[プロジェクト カテゴリ]、[予測コスト差異]、[予測コスト差異 (%)]、[予測工数差異]、[予測工数差異 (%)]、[プロジェクト マネジメント オフィス]、[プロジェクト テンプレート]、[プロジェクト タイプ]、[ベースライン スケジュール]、[スケジュール差異 (%)]、および [ステータス レポート]。</p> <p>また、CA Clarity PPM でインストールされる [リスク] 属性の表示マッピングも含まれます。</p>
ステータス レポート	オブジェクト	<p>このアイテムは、ステータス レポートオブジェクト全体が PMO アクセラレータ と共に確実にインストールされるように強制的にインストールされます。その属性のすべての変更および対応するすべての表示マッピングが、インストール時に上書きされます。これにはオブジェクト ビューは含まれません。つまり、オブジェクト ビューは上書きされません。</p>
アイデアとプロジェクトのカテゴリでパラメータ化したルックアップ	ルックアップ	<p>PMO リリース 14.2 :</p> <p>ルックアップクエリがデータ ウェアハウスによって必要とされる言語コード情報で更新されるように、この項目は強制的にインストールされます。</p>
PMO - プロジェクトステータス	ページ	<p>PMO バージョン 3.0 :</p> <p>このアイテムは、ページレイアウトが PMO アクセラレータ と共に確実にインストールされるように強制的にインストールされます。次のポートレットが含まれます: [プロジェクト インジケータ]、[今後のマイルストーン]、[プロジェクト ベースライン]、[ステータス レポート インジケータ]、[トランザクションタイプ別実績値]、および [チーム稼働ステータス]。</p>

名前	タイプ	説明
トランザクションタイプ別実績値	ポートレット	<p>PMO リリース 3.2 :</p> <p>このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。クエリ プロバイダの変更は、パフォーマンスを向上させるために行われました。これらのパフォーマンス向上の結果として、以下の列がポートレット設定で使用できなくなりました：[残りの金額]、[請求]、[請求コード]、[登録日]、[投資オブジェクトコード]、[プロジェクト]、[プロジェクトの部門]、[プロジェクトエンティティ]、[プロジェクト ID]、[プロジェクト内部 ID]、[プロジェクトの場所]、[リソース部門]、[リソースエンティティ]、[リソース内部 ID]、[リソースの場所]、[タスク内部 ID]、[トランザクションクラス]、[トランザクション内部 ID]、[トランザクションタイプ]、および [WBS シーケンス]。また、集計行も削除されました。</p> <p>ポートレットは、Excel への詳細行のエクスポートをサポートできるように機能強化されました。</p> <p>ポートレットには、[トランザクション] / [リソース] / [日付] 列に続いてグリッドに表示される 2 つのプレースホルダ列があります。ポートレットが Excel にエクスポートされないと、これらのプレースホルダ列にはデータが表示されません。ポートレットが Excel にエクスポートされると、リソース名およびトランザクション日がプレースホルダ列に表示されます。</p>
コストとスケジュールの概要	ポートレット	<p>PMO リリース 14.1 :</p> <p>パフォーマンス向上は、クエリ プロバイダに対して行われています。</p> <p>PMO リリース 3.2 :</p> <p>このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。[プロパティ] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。[プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティ ページにリンクするようになりました。[計画資本コスト]、[計画資本コスト (%)]、[計画業務コスト]、および [計画業務コスト (%)] 列は、このポートレットに対する設定で追加できます。[実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。</p>

名前	タイプ	説明
ポスト済みトランザクションレビュー	ポートレット	<p>PMO リリース 3.3 : ポートレットに、列およびフィルタとして [コスト タイプ] が追加されました。 [請求コード] の後にあります。</p> <p>PMO リリース 3.2 : このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [コスト タイプ] (列とフィルタ) および [入力番号] (フィルタのみ) は、このポートレットに対する設定で追加できます。 ポートレットはフィルタリングなしでは結果を表示せず、 [投資フィルタ] が必要になりました。</p> <p>注: このポートレットは、メニューの [ポスト済みトランザクションレビュー] ページから使用できます。</p>
ポスト済みトランザクションレビュー	ポートレット	<p>PMO リリース 3.3 : ポートレットに、列およびフィルタとして [コスト タイプ] が追加されました。 [請求コード] の後にあります。</p> <p>PMO リリース 3.2 : このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [コスト タイプ] (列とフィルタ) および [入力番号] (フィルタのみ) は、このポートレットに対する設定で追加できます。</p> <p>注: このポートレットは、コスト計画詳細オブジェクトアクションとして使用できます。</p>
プログラムマネージャコストダッシュボード	ポートレット	<p>PMO リリース 14.1 : クエリが修正され、計画 ROI および計画 IRR がパーセント計算済み数値として表示されます。</p> <p>PMO リリース 3.2 : このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [プロパティ] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。 [プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティページにリンクするようになりました。 [計画資本コスト]、 [計画資本コスト (%)]、 [計画業務コスト]、および [計画業務コスト (%)] 列は、このポートレットに対する設定で追加できます。 [実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。</p>

名前	タイプ	説明
スケジュールと進捗ステータス	ポートレット	<p>PMO リリース 3.2 :</p> <p>このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [計画資本コスト] および [計画業務コスト] メトリックは、このポートレットに対する設定で追加できます。</p>
チームメンバータスク要約	ポートレット	<p>PMO リリース 3.2 :</p> <p>このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [プロパティ] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。 [プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティ ページにリンクするようになりました。 タスクにガイドラインとして有効な URL が含まれているか、またはサイトでガイドラインがセットアップされている場合、ポートレットにはガイドラインアイコンが表示されるようになりました。</p>
トランザクションタイプ別実績値	クエリ	<p>PMO リリース 3.2 :</p> <p>パフォーマンス向上は、このクエリ プロバイダに対して行われました。 これらのパフォーマンス向上の結果として、以下の列がクエリから削除されました: [残りの金額]、[請求]、[請求コード]、[登録日]、[投資オブジェクトコード]、[プロジェクト]、[プロジェクトの部門]、[プロジェクトエンティティ]、[プロジェクト ID]、[プロジェクト内部 ID]、[プロジェクトの場所]、[リソース部門]、[リソースエンティティ]、[リソース内部 ID]、[リソースの場所]、[タスク内部 ID]、[トランザクションクラス]、[トランザクション内部 ID]、[トランザクションタイプ]、[WBS シーケンス]。また、クエリも Excel への詳細行のエクスポートをサポートできるように機能強化されました。</p>
コストと工数ダッシュボード	クエリ	<p>PMO リリース 14.2 :</p> <p>クエリが変更され、[作業ステータス] フィルタが作業ステータス内部 ID を渡せるようになりました。</p> <p>PMO リリース 3.3 :</p> <p>これは新しいクエリです。このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。</p>

名前	タイプ	説明
コストとスケジュールの概要	クエリ	<p>PMO リリース 14.1 : パフォーマンス向上は、クエリ プロバイダに対して行われていません。</p> <p>PMO リリース 3.2 : クエリには、[計画資本コスト]、[計画資本コスト(%)]、[計画業務コスト]、および [計画業務コスト(%)] という新しいコスト列が含まれるようになりました。また、[実コスト] 列も [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。</p>
現在の問題	クエリ	<p>PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。</p>
現在の問題のリスト	クエリ	<p>PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。</p>
フェーズ別アーンドバリュ分析	クエリ	<p>PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。</p>
投資リソース稼働ステータス	クエリ	<p>PMO リリース 3.3 : クエリが変更され、CA Clarity PPM でロケール設定を変更しても、ポートレットでは正しくフォーマットされた期間が表示されます。</p>
投資タイムシートのレビュー	クエリ	<p>PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。</p>
投資タイムシートの要約	クエリ	<p>PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。</p>

名前	タイプ	説明
問題管理	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリには、プログラムを含めるためにフィルタ オプションがあります。既定では、このフィルタ オプションは [はい] に設定されており、プログラムの問題がポートレットに表示されることを意味します。
優先度別問題	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
問題のリスト	クエリ	PMO リリース 3.3 : 投資のプロパティへのリンクがクエリに追加されました。
ステータス レポート遅延	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリには、プログラムを含めるためにフィルタ オプションがあります。既定では、このフィルタ オプションは [はい] に設定されており、プログラム遅延ステータス レポートがポートレットに表示されることを意味します。
遅延タスクとマイルストーン	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
マイルストーン	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
ステータス レポート欠如	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリには、プログラムを含めるためにフィルタ オプションがあります。既定では、このフィルタ オプションは [はい] に設定されており、プログラムのステータス レポート欠如がポートレットに表示されることを意味します。
マイ タイム シート	クエリ	PMO リリース 14.1 : クエリの MS SQL Server バージョンが修正され、いくつかの特定の状況でクエリが重複したディメンションデータを作成しなくなりました。

名前	タイプ	説明
保留中の見積もり	クエリ	<p>PMO リリース 3.3 : ETC の推奨変更がゼロの場合、クエリはレコードを除外します。</p> <p>PMO リリース 3.2 : クエリは、値に設定された未確定の ETC のみを含みます。未確定の ETC は、NULL である（値が入力されていない）場合、クエリ結果に含まれません。</p>
プロセスポータルネットワーク	クエリ	<p>PMO リリース 14.1 : クエリは、プロセスマイルストーンステップでアクションアイテムと関連付けられた多くのレビュー担当者をサポートします。</p> <p>PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。</p>
プログラムマネージャコストダッシュボード	クエリ	<p>PMO リリース 14.1 : クエリが修正され、計画 ROI および計画 IRR がパーセント計算済み数値として表示されるようになりました。</p> <p>PMO リリース 3.2 : クエリには、[計画資本コスト]、[計画資本コスト(%)]、[計画業務コスト]、および [計画業務コスト(%)] という新しいコスト列が含まれます。また、[実コスト] 列も [実コスト (ACWP)] に名前が変更されます。</p>
プログラムマネージャスケジュールボード	クエリ	<p>PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。</p>
プロジェクト分析	クエリ	<p>PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。</p>

名前	タイプ	説明
プロジェクト ベースライン	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリが変更され、CA Clarity PPM でロケール設定を変更しても、ポートレットでは正しくフォーマットされた期間が表示されます。SQL Server 用にクエリが修正され、重複したディメンションエラーを生成しなくなりました。エラーの原因はクエリ内のデータベース機能に関する問題でした。長期のベースラインを計算する機能が修正され、エラーが取り除かれました。
フェーズ別プ ロジェクトコ スト	クエリ	PMO リリース 3.2 : [実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。
リソース別プ ロジェクトコ スト	クエリ	PMO リリース 3.2 : [実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。
タスク別プロ ジェクトコス ト	クエリ	PMO リリース 3.2 : [実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。
[プロジェク ト サイクル時 間分析] クエリ	クエリ	PMO リリース 14.2 : クエリが変更され、期間には開始日と終了日が含まれます。 PMO リリース 3.2 : WBS にいくつかのレベル（フェーズとタスクを含む）がある場合、クエリによって、ディメンションに関する重複したデータが生成されなくなりました。
プロジェクト ドキュメント レビュー	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
プロジェクト インジケータ	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
OBS 別プロ ジェクト KPI	クエリ	PMO リリース 3.2 : [プロジェクト詳細] 列は [プロジェクトダッシュボード] に名前が変更されました。マッピングが、横向き矢印 - 中間色アイコンからダッシュボードアイコンに変更されます。

名前	タイプ	説明
プロジェクト ライフサイク ルのレビュー	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
リスク管理	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリには、プログラムを含めるためにフィルタ オプションがあります。既定では、このフィルタ オプションは [はい] に設定されており、プログラム リスクがポートレットに表示されることを意味します。
スケジュール と進捗ステー タス	クエリ	PMO リリース 3.2 : クエリには、[計画資本コスト] および [計画業務コスト] という新しいコスト列が含まれます。
スケジュール ダッシュボー ド	クエリ	PMO リリース 3.3 : これは新しいクエリです。このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
スケジュール パフォーマンス	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリは、どの OBS ユニットにも関連付けられていないプロジェクトからのタスクを含み、[スケジュールパフォーマンス詳細] ドリルダウン ポートレットと一致する結果を表示するように変更されました。
スケジュール パフォーマンス の詳細	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
スタッフ配置	クエリ	PMO リリース 14.1 : ProjectID ページ リンク パラメータの名前が ID に変更されました。この変更で、[スタッフ割り当て] ポートレットを、プロジェクトダッシュボード ページでの設定に利用できるようになります。 PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。

名前	タイプ	説明
スタッフ割り当て	クエリ	<p>PMO リリース 14.1 :</p> <p>ProjectID ページリンク パラメータの名前が ID に変更されました。この変更で、[スタッフ割り当て詳細] ポートレットを、プロジェクト ダッシュボード ページでの設定に利用できるようになります。</p> <p>PMO リリース 3.2 :</p> <p>このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。</p>
ステータスレポート インジケータ	クエリ	<p>PMO リリース 3.2 :</p> <p>このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。</p>
ステータスレポート リスト	クエリ	<p>PMO リリース 3.3 :</p> <p>クエリには、プログラムを含めるためにフィルタ オプションがあります。既定では、このフィルタ オプションは [はい] に設定されており、プログラム ステータス レポートがポートレットに表示されることを意味します。</p>
チーム キャパシテイ	クエリ	<p>PMO リリース 3.3 :</p> <p>クエリが変更され、CA Clarity PPM でロケール設定を変更しても、ポートレットでは正しくフォーマットされた期間が表示されます。</p>
チーム メンバ オーガナイザ	クエリ	<p>PMO リリース 3.2 :</p> <p>クエリは、タスクにガイドラインとして有効な URL が含まれているか、またはサイトでガイドラインがセットアップされている場合にガイドラインアイコンを表示するように変更されています。</p>
タイムシート メモ	クエリ	<p>PMO リリース 3.2 :</p> <p>このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。</p>
タイムシートのレビュー	クエリ	<p>PMO リリース 3.2 :</p> <p>このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。</p>

名前	タイプ	説明
トランザク ションレ ビュー	クエリ	<p>PMO リリース 3.3 :</p> <p>集計関数を持った量が、ディメンションプロパティからメトリックに変換され、パワーフィルタで利用できなくなりました。これは、クエリ属性が集計関数を持ち、属性がパワーフィルタで選択されている場合、CA Clarity PPM がシステムエラーを生成するからです。</p> <p>PMO リリース 3.2 :</p> <p>クエリには、列およびフィルタとして [コストタイプ] が含まれます。また、パラメータフィルタとして [入力番号] も含まれています。</p>
今後のプロ ジェクトマイ ルストーン	クエリ	<p>PMO リリース 3.2 :</p> <p>このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。</p>

アドイン項目のインストール(以前にインストールしたリリースのみ)

アドインの既存のインストールがある場合、または以前に CA Clarity PPM Studio オブジェクトが設定されている場合は、このセクションで記述されているステップを実行します。アドインを初めてインストールするときは、これらの手順は必要ありません。

次の手順に従ってください:

1. CA Clarity PPM へログインします。
2. [管理] を開き、Studio で [コンテンツ アドイン] をクリックします。
[コンテンツ アドイン] ページが表示されます。
3. [アクセラレータ: プログラム マネジメント オフィス] アドイン (ID : csk) のリストアイコンをクリックします。
[Content Add-In Items List] ページが表示されます。

4. リスト内の項目を確認し、[更新の準備ができました] または [未インストール] である項目を選択します。このページで使用できるステータス フィルタを使用してください。

[Status] は、アドイン項目が CA Clarity PPM にインストールされるかどうかを示します。

値：

- [未インストール]。このアドインバージョンで新しく追加された項目、またはインストール時にエラーが発生した項目。以前の CA Clarity PPM リリースからのアップグレードの後に PMO アクセラレータが正しくアップグレードされていない場合は、いくつかの項目が [未インストール] として表示され、アドインをインストールする必要があることを伝えるアラートメッセージが表示されます。アドインをインストールして、これらの項目のステータスを変更します。
- [更新の準備ができました]。以前のアドインバージョンからインストールしている項目で現在のアドインバージョンで更新されている項目、または Studio を使用して更新したビューでアドインによって更新されたビュー。

重要: 項目をインストールする前に、項目に対して行った設定を考慮してください。変更された項目をインストールすると、設定が上書きされます。

- [インストール済み]。インストールされている項目です。
5. インストールする製品を選択します。

PMO アクセラレータ リリース 14.2 で更新された項目のリストと各更新の説明については、「[PMO リリース 14.1 から PMO リリース 14.2 へのアップグレード \(P. 51\)](#)」を参照してください。

ユーザが以前に Studio オブジェクト ビューを設定している場合、設定は保持され、インストール中に上書きされません。それらを選択することにより、インストールするビューを決定できます。PMO アクセラレータによるビューの設定方法の詳細については、「[PMO アクセラレータ製品ガイド](#)」を参照してください。

6. (アップグレードの場合のみ) ステータスが「更新の準備ができました」になっているアクティブなプロセス インスタンスがある場合は、それらをすべてキャンセルして削除します。

CA Clarity PPM 管理者に問い合わせるか、「管理ガイド」を参照してください。

7. [Install] をクリックします。

[コンテンツ項目のインストールを確認] ページに、インストールを選択された項目が表示されます。選択された項目が他の項目と依存関係にある場合は、ページに依存項目も表示されます。これらの項目もインストールする必要があります。

重要: 項目をインストールする前に、項目に対して行った設定を考慮してください。変更された項目をインストールすると、設定が上書きされます。

8. 項目を更新またはインストールするには、[はい]をクリックします。

[確認] または [インストール] ページにリスト表示される項目がユーザによって事前に変更された場合は、更新を表示する前に、その項目がユーザに示されます。

詳細については、Studio 開発者のドキュメントを参照してください。

Jaspersoft [拡張レポート]コンテンツのインポート

以下の手順では、ドメイン、レポート、入力コントロール、ローカライゼーションバンドル、画像、テンプレート、データソース、およびロールをインポートします。また、[CA Clarity システム管理 (CSA) レポート] サブタブで指定した組織名とユーザも作成します。

重要: Jaspersoft [拡張レポート] コンテンツをインポートする前に、[CSA レポート] サブタブで組織名およびユーザを指定する必要があります。さらに、レポートの多くは、PMO アクセラレータで提供されるオブジェクトと属性を参照しているため、PMO アクセラレータ リリース 14.2 が、Jaspersoft [拡張レポート] コンテンツの前提条件になります。

Jaspersoft [拡張レポート] コンテンツをインポートする前に、Jaspersoft および CA Clarity PPM の拡張レポート設定の手順を完了する必要があります。拡張レポートの設定方法に関する詳細については、「CA Clarity PPM インストールガイド」を参照してください。

このインポートでは以下を実行します。

- 組織を作成します。インポート前に [CSA レポート] サブタブで組織名を定義します。
- 組織のリポジトリ内に CA PPM フォルダおよびそのサブフォルダを作成します。CA PPM フォルダには Jaspersoft [拡張レポート] コンテンツ項目がすべて含まれます。
- [拡張レポート] ロールを作成します。これらのロールの説明については、「CA Clarity PPM 管理ガイド」を参照してください。
- PMO アクセラレータのロールを作成します。このロールに応じてコンテンツの権限が決まり、ロールの先頭は「CSK_」になります。
- データベースに固有なデータ ウェアハウスのスキーマ所有者名を持つドメインを更新します。
- [UI テーマ] をアップロードします。
- [共有] フォルダを作成します。
- Jaspersoft 管理者ユーザを作成します。既定ユーザは「ppmjasperadmin」です。このユーザは、インポート前に [CSA レポート] サブタブで変更できますが、インポート後には変更しないでください。[Jaspersoft ユーザの作成および更新] ジョブおよび [データ ウェアハウスのロード] ジョブでは、ドメインが動的に更新されるため、このユーザが必要になります。

次の手順に従ってください:

1. コマンドプロンプトを開き、CA Clarity PPM の runtime/bin ディレクトリに移動します。
2. 以下のコマンドを入力します。
`admin content-jaspersoft csk -userName superuser -password <パスワード>`
インポートプロセスが開始され、画面に情報が表示されます。情報はログファイルに記録されません。インポートプロセスにはスーパーユーザ ユーザが必要です。
3. インポート完了後、画面に重要な情報が表示されていないかを確認します。
4. [管理] を開き、Studio で [コンテンツ アドイン] をクリックします。
[コンテンツ アドイン] ページが表示されます。
5. [アクセラレータ: プログラム マネジメント オフィス] アドイン (ID : csk) をクリックします。
[コンテンツ アドイン アクセラレータ: プログラム マネジメント オフィス - プロパティ] ページが表示されます。
6. このページの [バージョン] セクションに含まれる [Jaspersoft コンテンツ インストール日] を確認します。

オプションのインポートパラメータ :

- コンテンツのアップグレードまたは再インポートの場合は、以下のアップグレードパラメータを使用します。
`admin content-jaspersoft csk -userName superuser -password <パスワード> upgrade`
注: アップグレードパラメータの前にはダッシュ (-) を付けないでください。
重要: 拡張レポート コンテンツがすでにインポート済みの場合は、アップグレードパラメータを使用してこのコンテンツを再インポートする必要があります。アップグレードパラメータは以下を実行します。
 - CA PPM フォルダの権限を上書きします。
 - CA PPM フォルダ内の標準設定サブフォルダ (権限を含む) を上書きします。
 - CA PPM フォルダおよびサブフォルダ内の標準設定の Jaspersoft [拡張レポート] 項目 (権限を含む) を上書きします。項目にはドメイン、入力コントロールなどが含まれます。

- [CA PPM] / [レポート] サブフォルダ内のすべてを削除し、標準設定のレポートを再作成します。この削除には、標準設定および特定の顧客のレポートとサブフォルダが含まれます。[レポート] サブフォルダ内でレポートの作成、レポートフィルタの保存、またはレポートのスケジュールを行った場合、これらの項目は再インポート後に削除されます。
- PMO アクセラレータに含まれる既定の `jaspersoft_csk.zip` ファイル以外のファイルをインポートする必要がある場合は、`fileName` パラメータを使用します。
`admin content-jaspersoft csk -userName superuser -password <パスワード> -fileName jaspersoft_csk.zip`
- ネットワークの遅延により、`-retryCount` の値の増加を求めるエラーメッセージが表示され、インポートに失敗する可能性があります。
`-retryCount <数>` パラメータを使用して待機時間を増やします。数字の 1 は 10 秒に相当します。たとえば、以下のコマンドでは 50 が設定されており、これは 500 秒に相当します。規定値は 20 です。
`admin content-jaspersoft csk -userName superuser -password <password> -fileName jaspersoft_csk.zip -retryCount 50`

CA ベストプラクティス アクセラレータ

PMO アクセラレータ v2.0 以降、PMO アクセラレータ アドインには、ベストプラクティス アクセラレータ (BPA) が以前にインストールされている場合にすでに存在する可能性のある、ポートレット、プロセス、サブオブジェクト、テンプレートが含まれています。PMO アクセラレータ v1.3 からアップグレードしており、BPA をインストールしている場合は、PMO アクセラレータ リリース 14.2 にアップグレードする方法の詳細については、「*Upgrading from Clarity's Best Practices Accelerator to PMO アクセラレータ v2.1*」というドキュメントを参照してください。

PMO アクセラレータ サンプル データのインストール

PMO アクセラレータのサンプルデータをインストールすると、CA Clarity PPM の機能の例を確認して使用できます。

重要: サンプルデータは厳密にテストまたは開発環境向けです。実稼働 CA Clarity PPM サーバにはサンプルデータをインストールしないでください。データを含む CA Clarity PPM サーバにサンプルデータをインストールすると、エラーになったり、既存のデータを上書きしたりすることがあります。サンプルデータをインストールした後は、それを削除できません。

アドインサンプルデータをインストールする前に、システム通貨を USD に設定し、CA Clarity アプリケーション (app) および CA Clarity バックグラウンド (bg) サービスを停止します。

以下の手順に従います。

1. 管理者として、または [会計保守 - 会計管理] および [会計保守 - FOS (会計組織構造)] グローバルアクセス権を持つ任意のユーザとして CA Clarity PPM にログインします。
2. [管理] を開き、[会計] メニューから [セットアップ] をクリックします。
会計管理の既定値ページが表示されます。
3. 通貨に USD を選択して保存します。
4. CA Clarity システム管理にログインします。
5. [ホーム] を開き、[すべてのサービス] をクリックします。
6. CA Clarity アプリケーション (app) サービスと CA Clarity バックグラウンド (bg) のチェックボックスをオンにします。
7. [停止] をクリックします。
8. IBM WebSphere を使用している場合は、アプリケーションサーバの管理コンソールを使用して、CA Clarity システム管理とアプリケーションを停止します。
詳細については、J2EE ベンダーのドキュメントを参照してください。
9. コマンドプロンプトを開き、CA Clarity PPM の runtime/bin ディレクトリに移動します。
10. 以下のコマンドを入力して、サンプルデータをインストールします。
`admin content-demo csk`

インストールプロセスが開始され、画面に情報が表示されます。出力ファイルは `logs/content/xog/csk` ディレクトリに格納されます。

11. インストールが完了したら、画面の出力やログに重要な情報がないかどうかを確認します。
12. アドインをインストールする前に、CA Clarity アプリケーション (app) サービスと CA Clarity バックグラウンド (bg) サービスを起動します。
13. [管理] を開き、Studio で [コンテンツ アドイン] をクリックします。
[コンテンツ アドイン] ページが表示されます。
14. [アクセラレータ: プログラム マネジメント オフィス] アドイン (ID : csk) をクリックします。
[コンテンツ アドイン アクセラレータ: プログラム マネジメント オフィス - プロパティ] ページが表示されます。
15. このページの [バージョン] セクションに含まれる [サンプルデータ インストール日] を確認します。

第 3 章: 認定およびサポートされているバージョン

以下の PMO アクセラレータ と CA Clarity PPM の組み合わせのみが認定およびサポートされています。この表で、正しい PMO アクセラレータ と CA Clarity PPM の組み合わせがあることを確認してください。

CA Clarity PPM バージョン	アドインのバージョン
14.2	14.2
14.1	14.1
13.3	3.3
13.2	3.2
13.1	3.1
13.0	3.0
12.1	2.2
8.1.5/CA Clarity PPM v12.0.6	2.1.1
8.1.5/CA Clarity PPM v12.0.5	2.1
8.1.5	2.0
8.1 Service Pack 2	1.3
8.1.1	1.2

重要: PMO v1.2 から PMO v3.0 へのアップグレードは、有効なアップグレードパスではありません。PMO v1.2 をインストールしている場合は、PMO リリース 3.1 以降にアップグレードする必要があります。

PMO v1.2 より前のバージョンからアップグレードする場合は、PMO リリース 3.3 にアップグレードする前に、COP_PROJECT_ROLLOUP_V データベースビューにパッチを適用して、PRASSIGNMENT テーブルの PRBASESUM 列への参照を削除する必要があります。パッチを入手するには、テクニカルサポートにお問い合わせください。

第 4 章: ローカライゼーション

ユーザインターフェースは、サポートされている以下の言語で利用できます。

- ポルトガル語 (ブラジル)
- カタロニア語
- 中国語
- チェコ語
- デンマーク語
- オランダ語
- 英語
- フィンランド語
- フランス語
- ドイツ語
- ハンガリー語
- イタリア語
- 日本語
- ノルウェー語
- ポーランド語
- ロシア語
- 中国語 (簡体字)
- スペイン語
- スウェーデン語
- トルコ語

ローカライズ済みドキュメントの最新版は、[CA サポート](#)の [ドキュメント] リンクからオンラインで利用できます。

第 5 章: ドキュメント

「PMO アクセラレータ製品ガイド」には製品概要およびインストール情報が記載されています。また、このガイドにはアドインの使用方法に関する詳細なプロセスと手順が含まれています。

「PMO アクセラレータ製品ガイド」と「リリースノート」の最新のバージョンは、[CA サポート](#)の [ドキュメント] ページから利用可能です。ドキュメントの最新版については、この **Web** サイトに定期的にアクセスしてください。

第 6 章: 追加リソース

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[テクニカル サポートへのお問い合わせ](#) (P. 49)

テクニカル サポートへのお問い合わせ

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイトをご覧ください。

Web アドレス:

<http://www.support.ca.com>

電話番号:

北アメリカ: 1 888 (550) 6458

ヨーロッパ: 44 08459 (888788)

アジア太平洋: 61 3 (9821) 3000

第 7 章: アップグレード情報

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[PMO リリース 14.1 から PMO リリース 14.2 へのアップグレード \(P. 51\)](#)

PMO リリース 14.1 から PMO リリース 14.2 へのアップグレード

PMO リリース 14.1 がインストールされていて、PMO リリース 14.2 にアップグレードする場合は、インストールされていない項目が [Content Add-In Items List] ページに表示されます。これらの項目のステータスには、[更新の準備ができました] と表示されます。多くの場合、項目が [更新の準備ができました] と表示される理由は、新しいアドインバージョンに含まれる項目に更新があるためです。

以下の表に、PMO リリース 14.1 が完全にインストールおよび適用され (すべてのカスタム ビューを含む) 、PMO リリース 14.2 にアップグレードされたシナリオを示します。テーブル内の項目は、コンテンツ項目をキーとしてアルファベット順に並べ替えられます。

重要: 表を参照して、[更新の準備ができました] ステータスを持ったアドイン項目のインストールに推奨されるアクションの説明を確認してください。更新の適用が、「強く推奨」、「推奨」、または「オプション」のいずれかを判断できます。

以下のフィールドが表に表示されます。

コンテンツ項目

項目名を示します。 [Content Add-In Items List] ページのコンテンツ項目と同じです。

タイプ

項目タイプを示します。 [Content Add-In Items List] ページのタイプと同じです。

説明

更新の説明、および更新を適用する理由についての簡単な説明です。

アクション

項目に対して実行する必要があるアクションを示します。

値：

- **SR**。更新が強く推奨されます。これはインストールする必要があります。
- **R**。更新が推奨されます。これはインストールする必要があります。
- **O**。更新はオプションです。カスタム ビューまたは項目を変更した場合または変更が上書きされるのを望まない場合以外は、更新のインストールを推奨します。ビューの更新を適用しない場合は、変更の説明を読み、設定されたビューで手動で変更を行うことを考慮するようにしてください。

重要: 項目をインストールする前に、項目に対して行った設定を考慮してください。変更された項目をインストールすると、設定が上書きされます。

コンテンツ項目	タイプ	説明	アクション
プロジェクト チーム詳細リス ト ビュー	表示	このビューは [コスト合計の更新] アクションを含むように更新されています。必要に応じて、それを適用する代わりに、CA Clarity PPM Studio でこのビューを手動で変更できます。[管理]を開き、Studio メニューで[オブジェクト]をクリックします。[チーム] オブジェクトを選択し、[ビュー] タブから [プロジェクトチーム-詳細] ビューの [アクションメニュー] リンクをクリックします。[概要] メニューを選択し、[コスト合計の更新] アクションを [選択されたアクション] に移動します。	O
プロジェクト チーム スタッフ リスト ビュー	表示	このビューは [コスト合計の更新] アクションを含むように更新されています。必要に応じて、それを適用する代わりに、CA Clarity PPM Studio でこのビューを手動で変更できます。[管理]を開き、Studio メニューで[オブジェクト]をクリックします。[チーム] オブジェクトを選択し、[ビュー] タブから [プロジェクトチーム-スタッフ] ビューの [アクションメニュー] リンクをクリックします。[概要] メニューを選択し、[コスト合計の更新] アクションを [選択されたアクション] に移動します。	O

